

IOC無垢フローリング施工説明書

①施工前の確認と準備

保管に関して

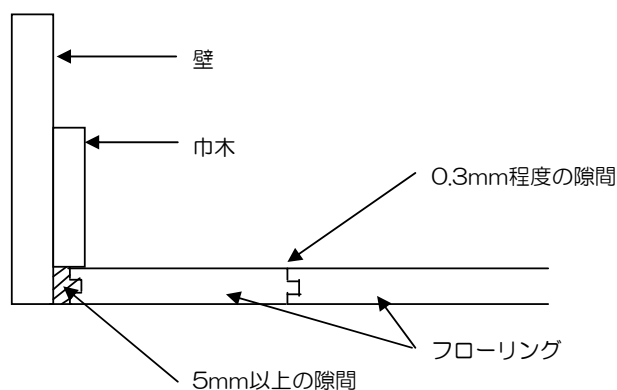
- 土間コンクリートに直接置いたり、雨水に漏れないように十分注意して保管して下さい
- 直射日光のあたる場所での保管は避けて下さい
- 無垢材の性質上、膨張、伸縮を防止するため必ず施工現場の湿度になじませてから施工して下さい

施工箇所準備

- 床下の換気を十分に行えるよう、通気口を設け、床下の乾燥に留意して下さい
- 外部や浴室、地下室、半地下室への施工はご遠慮下さい
- 一般住宅以外の場合はご相談下さい

②施工上の注意点

- 根太は303mmピッチで施工して下さい
- 12mm以上の耐水合板で捨て貼りして、平滑な合板下地を作って下さい
合板は3尺すらし(千鳥貼り)にして下さい
- 湿気の多い場合は0.1mm厚以上の防湿シート等を併用して下さい
- 木目は色調が各枚によって異なりますので、予め仮並べをして下さい
- 極端に小幡材がこないよう、貼り込み前に割りつけを行って下さい
- 壁際の納まりや敷居、框などとの納まりは必ず5mm以上の隙間を設け、コーキング処理などを行って下さい
(下図参照)



- 施工は必ず糊併用で行って下さい。貼り付けはきつく締め付けると無垢材の性質上、反りや突き上げの原因になるのでご注意下さい
- サネは強く叩きすぎないようにして、名刺1枚分(0.3mm程度)の隙間を設けて貼って下さい
- 接着剤はコニシKU928C、アイカ工業JW410/Kをお勧め致します
※木工用ボンド・水性/塩ビ系・合成ゴム系弾性接着剤等は使用しないで下さい
- 釘は38mm以上のフローリング用スクリューネイルを使用し、45～55度の角度で打ち付けて下さい
- フロアタッカーをご使用の際には、打ち付け角度をエア圧にご注意下さい
- 施工後は24時間以上静止養生を行って下さい
※季節により硬化速度が変わりますので冬季は2～3日を目安として下さい

③施工後の注意点

- フローリングの表面に擦り傷が付かないよう養生シートを敷き、その上にコンパネや合板、またはダンボールを敷いてフローリングをしっかりと保護して下さい
- 養生テープは直接フローリングに貼らないで下さい。養生テープによって長時間接着を続けると、糊残り、色変化、またはフローリング表面の塗装面にテープが付着するので、ご注意ください
- 保護した後の上には物を置かないで下さい。また、足で踏まないで下さい
- 室内の換気は十分に取って下さい。特に夏場の高気温や冬場の急激な暖房にもご注意ください
- 養生が不十分ですと表面や木の目に埃やチリが残り、通常のクリーニングでは取れなくなる事があるため、特に色の濃い商品の養生には十分ご配慮下さい

④その他の注意点

- 床材は開梱後すぐに施工して下さい。雨濡れしたものは使用しないで下さい
- 下地は濡れや湿気のないことを確認の上ご使用下さい
- 雨天など湿気の高い天候下では施工は控えて下さい
- 床下の風通しをよくして下さい
※風通しが悪いと湿気が高くなり、床材の盛り上がり、腐れなどの原因となる事があります